

# 社会科の学習

## 1 目標

中学校の社会科の目標は、自分たちの身のまわりに起きていることがら(社会的事象)に目を向け、これらがどうしてそんな仕組みになっているのかを考える力を身につけ、これからの自分の生き方に生かすことにあります。これを、昨年学んだ1年生の歴史の学習を例にして説明してみましょう。

鎌倉幕府の学習では、将軍と御家人の土地を仲立ちとした主従関係について学びました。このしくみは、この時代の人間が、その時代でできることで最も良いと思うことを考えて作り上げたものです。ですが、この鎌倉幕府も約140年で滅んでしまいます。これにも、ちゃんと理由があったはずですが、その理由を理解した上で、「自分だったらこんなことをしたのに」などと考えることが、これからの自分の生き方につながるのです。

今までやこれからの学習で身につけた「ものの見方や考え方」を、自分の「生き方」に生かせる生徒を育てていきたいと考えています。

## 2 学習のしかた

授業では、知識を覚えることよりも、資料を活用する力や考え・判断する力を身につけることを重視します。ですから、教わるという姿勢ではなく、課題を解決するためにはどんなことを調べたらよいか。また、調べたことからどんなことが分かるのかを考えることが大切となります。

## 3 学習の予定

学期	学習内容	アドバイス	評価方法
1	・日本の姿〔地理〕 日本の地域的特色 ・江戸時代〔歴史〕	・記録を工夫する習慣をつけよう。 ・ワークを活用して家庭学習の習慣をつけよう。	・授業中の活動 ・ノート・提出物 ・単元テスト ・期末テスト など
夏 休み	・レポート制作：2学期はじめに全員提出すること。内容については授業中に指示します。 ・ワーク：勉強する範囲は授業中に指示します。		
2	・日本の諸地域〔地理〕 ・江戸～明治時代〔歴史〕	・日本の地域ごとの大まかな地域的特色をつかもう。 ・江戸時代から明治時代に流れていくところをつかもう。	・夏休みの課題提出 ・授業中の活動 ・ノート・提出物 ・単元テスト ・中間・期末テスト
冬 休み	・ワーク...勉強する範囲は授業中に指示します。 ※今年の重大(十大)ニュースを見て、1年の社会の動きを振り返ろう。		
3	・日本の諸地域〔地理〕 ・明治時代〔歴史〕	・日本の地域ごとの大まかな地域的特色をつかもう。 ・明治時代で起きたことと現代につながることを学ぼう。	・冬休みの課題提出 ・授業中の活動 ・ノート・提出物 ・単元テスト ・学年末テスト等

## 4 学習教材

- 教科書 中学生の地理(帝国書院) 中学生の歴史(帝国書院)
- 地図帳 中学校社会科地図(帝国書院)
- 資料集 アクティブ地理総合(浜島書店) 学び考える歴史(浜島書店)
- ワーク よくわかる社会の学習 地理・歴史(明治図書)
- ファイル2冊〔地理用・歴史用〕

## 5 評価の観点および方法

評価の観点	内 容	評価の方法
知識・技能	地理的・歴史的な事柄を理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	各種テスト ワークシート 観察
思考・判断・表現	地理的・歴史的な事柄について、いろいろな見方・考え方をすることができる。また、社会に見られる課題の解決に向けて選択や判断るとともに、その理由を説明したり、それらを基に議論したりしている。	ワークシート 作品 観察 各種テスト
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的な事柄について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会にするために、課題を主体的に解決しようとしている。	観察 ワークシート 各種提出物

## 6 学習のポイント

### (1)まずは何より授業が中心！

先生がお話することを中心にしてすすめる講義タイプの授業では、きちんとノートをとることが大切です。家で見返したときに何を勉強したのかが自分でわかるノートにしていきましょう。講義タイプの授業でも、地図やグラフ、年表などを作成する作業の時間が入ることもあります。

まず何より**授業中心**でいきましょう。そのためのノートの取り方を工夫しましょう。

### (2)ワークを使っての復習が大切！

家庭学習において、社会科は、予習することよりも復習に力を入れて下さい。授業があったその日のうちに復習すると効果的です。その際、ぜひワーク（問題集）を使ってください。ワークには、確認問題だけでなく資料を使った応用問題、巻末に重要語句チェックなどものっていますので、単元テストや定期テスト前にも役立ちます。

また、ワークは定期的に提出してもらうこととなりますので、『あとでまとめてやればいいや。』と放っておくと大変なこととなります。とにかく、こまめに復習することが大切です。

#### 家庭学習（復習）のすすめ方の例

- ①教科書を読む。（重要語句や地名、時期などを地図帳や年表を見て確認しながら…）
- ②ノートを見て、授業を思い出しながら必要なことを教科書に書き込む。
- ③年表・地図・資料を見ながら授業で学んだことを頭の中で整理する。
- ④ワークを何も見ないでやってみる。
- ⑤答え合わせをして、わからなかったところや間違えたところを教科書や地図帳で確認する。
- ⑥もう一度教科書を読む。